

卒業生を送る会の一コマ



送辞

今年はいつもの以上に雪が多く、厳しい冬となりました。それでも、この大曲中学校から見える山々の雪は日に日に少なくなり、暖かな風と共に春の訪れを感じる季節となりました。

煌星学年の皆さん、ご卒業おめでとうございます。この大曲中学校に、また一つ、素晴らしい伝統を残してくださった先輩方の姿は、私たちの誇りとして、煌めく星のように、鮮明に輝いています。煌星学年の皆さんとの日々を振り返ると、いつも私たちの前を進み、私たちを導いてくださいました。そして、どんなことにも果敢に取り組み、その手腕を発揮してくださいました。

部活動での先輩方は、どんなに辛くても諦めず、前を向いて練習に励んでいました。思うように活動ができない日々が続いても、常に私たちの先頭に立ち、道しるべとなってくださいました。郡市総体の開催が決まり、壮行会での堂々とした先輩方の姿を見て、私たちも先輩方のように、どんな逆境にも負けない人間になりたいと強く思いました。また、文化部も研究発表会やコンクールが中止になるなど、活動が制限され、思うようにいかないことが多くありました。その中でも、自分たちができる活動を懸命に探し、取り組んでいました。先輩方と共に努力し、成長し合った日々を、私たちはこれからも忘れることはないでしょう。

大曲中学校最大の行事である曲中祭も、今年は大幅にその姿を変えました。全校生徒会を中心に何ができるのかを模索し、計画を進めてくださいました。煌星学年の皆さんが歌った「大いなる秋田」は曲中祭テーマ「雨歌天晴～繋ぐ声と心の輪 今高らかに響かせて～」の通り、私たちの心に希望の輝きを蘇らせてくれました。見に来てくださった家族の方々もきっと同じ思いだったことでしょう。私たちも、先輩方のように自分たちがどんな状況にあったとしても、誰かのために手を差し伸べられる人になろうと思いました。

また、生徒会活動では、田口和沙生徒会長のもと、どの委員会でも生徒の意見を大切にしながら活動ができました。生徒一人一人の力で学校をよりよい方向に変えていこうとする生徒会を、先輩方が創り上げてくれたからこそ、私自身も全校生徒のみなさんと共に曲中をさらによくしていこうと心に決めました。これからも、先輩方の築き上げた生徒会をさらに発展させていけるように、在校生一丸となって進んでいきたいと思えます。

今年は、本当に大変な一年間だったことと思います。それでも、毎日笑顔を決やさず、今できることをひたむきに取り組む先輩方の姿は、これからもずっと私たちの目標です。皆さんが精一杯取り組む姿を見せてくれたからこそ、私たちも頑張ることができました。本当に今までありがとうございました。

煌星学年の皆さん一人一人がこれからも光り輝く一等星となり、新たな道を目指して活躍されることを心からお祈りし、送辞とさせていただきます。